

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	中心市街地活性化推進事業		担当部署	経済建設部 商工政策課		
総合計画体系			根拠法令計画など	中心市街地活性化法・都市計画法・大店立地法・鳴門市中心市街地活性化基本計画(H12.3月)		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	12年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			終期	未定
(小項目)		市街地				
施策	2	活気に満ちた市街地の形成				
基本事業	2	市民参加による中心市街地のにぎわい創出				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 大道、本町、サンロード、ハッピーロード商店街を中心とした市中心部						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市中心部の活性化を図り、各事業所の所得の向上を促進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		中心市街地での事業実施回数	2	4	4	4	4	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	23・24年度の地域雇用創造実現事業で実施し、特に中心市街地でのにぎわいに効果があった「クリスマスマーケット」を商工会議所が引継ぎ、開催した。 さらに、大道商店街の新しい取り組みとして100円商店街を実施した(第1回5月25日開催、第2回は11月16日に開催)。また、子どもたちに起業体験をさせ、将来の企業家を育成する「ジュニアエコノミーカレッジ」も開催した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加人数	6,000	20,000	20,000	20,000	20,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	中心市街地での事業実施回数		2	4	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		1,000	1,300	1,300	1,300	1,300	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	1,000	1,300	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	1,300	1,300	1,300	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,955	1,955	1,955	1,955	1,955	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,955	3,255	3,255	3,255	3,255	千円	

【事務事業名：中心市街地活性化推進事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	「クリスマスマーケット」や100円商店街、ジュニアエコミーカレッジを継続して開催する。また、5月10日の100円商店街開催時に大道商店街の新しい取り組みとして「いす1グランプリ」を開催した。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	中心市街地の活性化にはにぎわい創出事業や販売促進事業の実施が必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策「活気に満ちた市街地の形成」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	中心市街地の活性化には様々な手法が考えられるため、事業の効果検証や関係者との意見交換をしながら内容の見直しなどを行う。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	中心市街地の活性化には様々な手法が考えられるため、関係者と意見交換をしながらより良い手法を検討していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	より集客力を向上させるためには、お客様を飽きさせない企画などが必要となる。そのためにも、実施主体である商店街のモチベーションを保つための工夫や、会議所や商店街との連携、地域活性化に取り組む人材の育成などが必要である。 現在の取り組みややる気を商店街だけでなく、市街地全体の活性化につなげていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				